

Cryofilm の粘着力について

切削面への Cryofilm の貼り付きが悪い原因

Cryofilm の凍結切片支持力は、下記のような条件で低下し良好な凍結切片を作製できなくなります。

- 1) Cryofilm は貼り付け対象により粘着力は変わります。例えば、脂肪が多く含まれている組織では粘着力は弱くなります。また脂肪が少なくても組織成分により粘着力は変わり軟骨、筋組織、靭帯等では粘着力は弱くなります。更に氷晶は粘着フィルムが貼り付き難い物質です。組織中の氷晶は試料の凍結操作により大きく影響され、試料の凍結操作が悪いと組織中の氷晶は大きく成長し、粘着フィルムが貼りつき難くなります。
- 2) 梅雨、夏等の湿度が高い季節は、切削面に直ぐに霜が付着して切削面への Cryofilm の接触が妨げられ、結果として Cryofilm の貼り付きが悪くなります。
- 3) 鋭利なナイフが使用されていない場合、切削面が粗くなり Cryofilm の切削面へ接触が妨げられて Cryofilm の貼り付き悪くなり良好な凍結切片が作製できなくなります。

対策：組織を金属容器等を使用し可能な限り急速に凍結し、切片採取面が露出したら直ぐに Cryofilm を貼り付け、本番切片作製の鋭利な替刃で切片を作製する。

Cryofilm の粘着力の検査

Cryofilm の粘着力は、下記条件で製造ロットごとに標準試料（9日齢マウス全身）から完全な凍結切片を作製できる事を確認することにより保証されています。

